

## 友の会通信

2006  
Vol.  
14

～群馬県立自然史博物館友の会～

「化石の発掘体験」  
～1億2千万年前の大地にハンマーの音～

7月の「野鳥観察会」に続いて、第2回目の「化石の発掘体験」が、10月23日、恐竜の足跡化石で有名な神流町瀨林で開催されました。

当日は、肌寒い日でしたが、事務局を含め32人の会員が参加。恐竜センターの佐藤和久学芸員を講師に、1億2千万年前の中生代岩層にハンマーを打ち込み化石発掘に取り組みました。

2時間あまりの発掘の結果、シジミの仲間やカキ、植物化石など発掘の成果を上げました。岩を割る音と歓声の中、瞬く間に時間が過ぎ、楽しく実りある発掘体験となりました。

参加者の声  
sankasha no koe化石の発掘体験に参加して  
(H17.10.23)

■発掘は初めてで、現地の先生の指導で掘り始めました。最初はしばらく何も出ませんでした。そのうちに硬い岩と岩との間に黒く少しやわらかい層がありました。そこを掘ってみると、小さいけれど立派なシジミの化石が4つ出てきました。これが1億2千万年前のものかと表しがたい感動を受けました。当時は、きっと遠浅で波静かな海岸に恐竜たちが平和に戯れていたのかなと思ひ、久々に童心に戻った気持ちで楽しい一日でした。

17-0550 吉田 計人

■化石を発掘しに行くのは、子どもの時以来でした。夢中になってしまいました。息子も妻も同じくでした。天気もよく、楽しい半日を過ごせました。

17-0052 岡野 弘行

■初めて自分の手で化石を発掘しました。本当に小さな貝の化石や植物の化石でしたが、見つけた時はとてもうれしく、興奮しました。これからは、石を見る目が変わりそうです。

17-0249 重成 有

■興味深い体験をさせてもらいました。

17-0247 重成志津代

■最初の1時間ぐらいはたぶん発掘できないだろうと思ってやっているうちに、小さいのが1つ出て、それで満足していたら次々と大きいのが出てきたのでびっくり！本当に地層に当たれば出るということを実感しました。少しだけ子どもに父親の感激が示せたかなあ？

17-0102 岡野 宏巳

■化石は発見できなかったけど楽しかった。

17-0105 岡野 峻士

■楽しかった！シジミの貝の化石が出たので楽しかった。

17-0104 岡野 真士

■恐竜は無理でも、アンモナイトがゴロゴロしているかも…と考えていた私はちょっと甘かったですね。でも、この手に直接触れることのできた1億2千万年前の岩石やそこに含まれる貝化石には、新生代のものとはまるで違う味わいがありました。とても楽しい一時でした。

17-0506 北川真理子

■化石の入っている黒い石を見つけるのが難しかったです。

17-0509 北川 聖治

■化石掘りで貝の化石を発掘できてよかったです。植物の化石を発掘できなくて、残念かったです。

17-0101 友成 悠介



## ・・・博物館等視察研修会・・・



11月20日(日)、すばらしい秋晴れのもと、茨城県つくば市の「地質標本館」と「つくば実験植物園」に行ってきました。参加者は、総勢34人でした。

地質標本館では、まず館前の黄色く染まった銀杏並木に感動しました。展示内容も充実していてとても勉強になりました。

つくば実験植物園では、ボランティアの方に解説をしていただきました。温室内にあるサバンナの植物や外に生えている様々な植物の解説を聞いていると、2時間があっという間にすぎました。友の会の皆様とも交流ができ、とても充実した1日を過ごすことができました。



### 参加者の声 sankasha no koe

■天候に恵まれ、友の会会員の皆様とともに茨城県つくば市の地質標本館、植物園等の視察研修、また筑波学園都市の街路樹の見事なもみじ、そして真っ青な空の色、すばらしい自然に癒えることができ、有意義な一日を過ごすことができました。ありがとうございました。

17-0526 茂木 栄子

■私は、今まで地質標本や地学、地球の歴史、メカニズム等のことについてあまり知りませんでした。地質標本館でよい勉強をさせていただきました。

植物園でもいろいろな植物の勉強ができました。植物に対する興味が出てきました。バスの中でも、会員の人達にはいろいろお世話になりうれしかったです。

17-0121 下 幸夫

■地質標本館では、最近身近に起きている地震に備えて、地震の前兆をとらえるため各地に設置した井戸で常に地下水を観測したり、実験室で実際に岩石を破壊させて地震発生のメカニズムに取り組んでいるとのこと、ご苦労様です。

植物園では、身近な自然史博物館の庭にもあるメタセコイア等の並木道に迎えられ、気分良好です。機会がありましたら、3月～5月の頃、ぜひもう一度樹木やお花に会いに行きたいと思います。とても楽しかった一日、本当にありがとうございました。

17-0163 大沢かつみ

■お世話になりました。筑波実験植物園で先方の解説ボランティアと交流できたことは、大変収穫だった。時期を6月あたりか9月はじめの頃にすれば、また行ってもいいところでは。

17-0515 富岡 清

■秋晴れのよい天気、紅葉も真っ盛りの中、「筑波実験植物園」の屋外の散策が心地よく、2時間歩いたことが爽快であり、勉強になりました。

17-0518 飯塚 幸枝

■エメラルドやルビーなどの宝石の原石が見られてよかった(地質標本館)。セコイアとメタセコイアの違いが分かった(植物園)。また、研修に参加して博物館や研究所などに行ってみたい。

17-0178 堀口真太郎



■小学1年生の息子と参加させていただきました。低学年には、内容が難しいものでしたが、お天気にも恵まれて楽しい一日でした。来年も楽しみにしています。

17-0177 堀口 光子



■地質標本館は、地質と言うだけあって(?)堅い内容でしたので、少しでも解説していただけたらもっと楽しめたかと思います。

植物園では、広い園内を解説していただきながら、驚くほど数多くの珍しい植物を見せていただき楽しめました。辛い天気にも恵まれ、楽しく有意義な一日を過ごすことができました。

17-0053 岡野美由紀

■今回、地質標本館では、古生代から新生代までの岩石・化石を、群馬県立自然史博物館(当館)のものと比較することに重点をおいて学習しました。収集物がガラス陳列に収まっており、当館のような解説(者)がないと理解が難しいと感じました。植物園では、植物の進化を重点に見てみました。特に三畳紀のシダ類クラドプレビスの維管束、またメタセコイアの左巻きの主幹の雄大さ、またムラサキシキブなどに見られる葉のつき方とそれに伴う実の進化が、現存することに驚きを感じました。

17-0578 山内 直行

## 友の会企画新商品のご紹介

### ■雨にも強いフィールドノート

野外で調査や観察を行う場合、その記録をノートに書き込んでくることになります。しかし、時には水に濡れたり、汚れたりといろいろなハプニングがあります。そこで、濡れてもシフにならず、ページ抜けもしないノートを開発しました。ページは紙ですから、どんな筆記用具でも書けます。下敷きがなくても書きやすいように堅い表紙にし、スケールや分度器を忘れても濡れるように、表紙工夫をしました。ワイシャツやズボンのポケットにも入ります。ぜひ、博物館ミュージアムショップでお買い求めください。



## イベント紹介

### 特別展「奥利根 その自然をさぐる」

会期：2006年3月18日(土)～5月7日(日)

場所：自然史博物館企画展示室

利根川源流部のある「みなかみ町」一帯の地域は「奥利根」と呼ばれ、今なお人の手が入らない地域があり、その主要部は国の自然環境保全地域に指定されています。

今回の展示では、1975年に行われた県奥利根総合学術調査隊以降の奥利根の調査の歴史を振り返るとともに、奥利根地域の地形・地質、生物を紹介します。



「深流をさかのはる県奥利根総合学術調査隊」

## 開館10周年記念企画展(第26回企画展)

### 「コアラ大陸オーストラリア ～ふしぎな動物たちの世界～」

会期：2006年7月15日(土)～11月26日(日)

場所：自然史博物館企画展示室

オーストラリア大陸は、長い間、他地域との生物の交流が限られてきました。そこでは、コアラやカンガルーなどの有袋類、カモノハシなどの単孔類をはじめ多くの生物が独自の進化を遂げてきました。今回の展示では、これらオーストラリアに生息する特徴的な生き物やオーストラリア産の化石について様々な標本や写真パネル等を用いて紹介します。

## 8月までの主なイベント

5 May

- ・友の会総会
- ・友の会講演会

「最近発見されたパレオバラドキシアをめぐる」

講師：館長 長谷川善和

7 July

- ・自然観察会

## New 出版物の紹介

特別展図録

### 「奥利根その自然をさぐる」

販売開始 2006年3月18日

予定販売価格：一般 500円 会員 450円

## 会員のみなさんの声をお寄せください

### ①自然だより

それぞれの地域での初音・初見・気づいた自然の営みなどを日時・場所・天候・コメントなどを添えてご連絡ください。

### ②会員の声

会の運営やご意見、紹介したい話、詩や短歌・散文など何でも結構です。長さも自由です。

### ③その他

紹介したい写真(撮影場所・日時・コメントを記入)

★受付期間はありません。いつでも結構です。

「友の会通信」の資料として活用させていただきたいと思います。多くのみなさんからの投稿をお待ちしています。

## 『友の会』の更新手続きと新規入会手続きを

### 入会による特典

- ①博物館の入館無料
- ②博物館からの情報配布
- ③友の会行事等への参加
- ④ミュージアムショップの割引

### 年会費

- ①一般会員 — 3,000円
- ②高・大会員 — 2,000円
- ③小・中会員 — 1,000円
- ④家族会員 — 5,000円
- ⑤賛助会員 — 10,000円

★現会員の方は引き続き入会をお願いします。さらに、お知り合いの方々に新規入会をお勧めいただければ幸いです。

## 賛助会員

額不同 敬称略 (平成17年12月末現在)  
以下の法人・個人の方に賛助費伺いただきました。有り難うございました。

■(株)富崎

■トヨタカローラ高崎(株)

■金井 功

■ジャーナル印刷(株)

### 博物館利用案内

■開館時間 午前9時30分～午後5時

(ただし入館は午後4時30分まで)

■休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)・年末年始

■観覧料 一般500円 高校・大学生300円

※中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料  
企画展・特別展開催中は別料金

## 編集後記

友の会通信14号ができました。友の会のイベント「化石発掘体験」や「視察研修会」の感想文がたくさん寄せられました。皆様イベントに対して、深い関心と大きな期待をもたれておられる様子がうかがえ大変うれしく思いました。今後の活動の大きな励みともなりました。お寄せいただいた原稿も紙面に限りがあり、全文記載できなかったことをお詫言いたします。 堀越 友子